

クラウドクレジット株式会社

2019年10月15日

カメルーン農業支援ファンド8号償還時時運用状況についてのご報告(第二種金融商品取引業協会「事業型ファンドの私募の取扱い等に関する規則」に基づくファンド報告書)

表記ファンドは2019年3月末日に当初予定していた満期償還期日を迎えましたが、2019年4月11日に、別途「カメルーン農業支援ファンド8号 契約期間延長のお知らせ」にて配信をさせていただきました通り、運用期間を2020年3月末日まで延長させていただきました。2019年9月に分配があり、その分配をもって本ファンドに帰属するすべての財産の換価が終了したことから、本ファンドの償還といたします。運用状況に関して、以下の通りご連絡申し上げます。

出資金総額	: JPY 35,000,000.-
うち投資送金額	: JPY 34,300,000.-
うち運用手数料	: JPY 700,000.-

=== 運用開始時の状況 ===

グループ会社貸付実行日	: 2018年3月5日
グループ会社貸付金額	: EUR 263,521.82
適用直物EURJPYレート	: 130.16
グループ会社貸付期間(当初予定)	: 2018年3月5日から2019年3月25日
資金運用日数(当初予定)	: 385日
グループ会社貸付金利(年利)	: 11.40%

===2019年3月25日時点(当初満期時)の状況 ===

予定グループ会社利息返済額	: EUR 31,687.60
実現グループ会社利息返済額	: EUR 0.00
未返済の利息額	: EUR 31,687.60
予定グループ会社元本返済額	: EUR 263,521.82
実現グループ会社元本返済額	: EUR 0.00
未返済の元本額	: EUR 263,521.82

出資者返済原資 : EUR 0.00
 円貨換算出資者返済原資 : JPY 0.-

===2019年9月25日時点の状況===

グループ会社累積未払利息額 : EUR 34,286.75
 実現グループ会社利息返済額 : EUR 5.88
 未返済の利息額 : EUR 34,280.87
 (返済前) グループ会社未払元本額 : EUR 997.94
 実現グループ会社元本返済額 : EUR 997.94
 (返済後) グループ会社未払元本額 : EUR 0.00
 グループ会社負担外為両替手数料 : EUR 1.18
 出資者返済原資 : EUR 1,005.00
 円貨換算出資者返済原資 : JPY 118,459.-
 ファンドの実現利回り : -4.7% (期間: 2018年3月5日~2019年9月30日)
 募集時表面利回り : 9.1% (期間: 2018年3月5日~2019年3月31日)

===分配金および償還金の概況===

分配金および償還金の有無 : あり
 分配金および償還金の金額 : 33,107,011 円
 出資金1万円当たりの分配金および償還金の金額 : 9,459 円(実際の分配額は、端数処理の関係で左記の金額に出資金の額(1万円単位)を乗じた金額と差異が生じる場合がございます)

出資対象事業の概況

本ファンドは、本件匿名組合契約に基づく出資金を本営業者グループ会社(Crowdcredit Estonia OÜ、以下当社エストニア法人)に貸付けたのち、当社エストニア法人が同額を本件債務者(Pan Africa Investment Funding Limited PCC、以下オバンバ社モーリシャス法人)に貸付けました。

本件債務者は貸付を受けた資金をもとに、カメルーン共和国に所在する本件オリジネーター(Ovamba Cameroon Solutions Sarl、以下オバンバ社)が組成するトレードファイナンス事業に参加することになっておりましたが、同時期に、①オバンバ社が主たる資金需要者のD社に対して経営健全性に疑義を持ち始めたこと、そのため、②オバンバ社は当初D社との間で締結したトレードファイナンス契約では資産保全に懸念があると考え、同ファンドシリーズの前号までの資金を元に行ったD社に対するトレードファイナンスの早期返済を求めたこと、③そのうえで、オバンバ社はより資産保全が強固なストラクチャーでD社とトレードファイナンスを締結し直そうと試みたものの、当該ストラクチャーではD社が取引に応じてこなかったこと、また④カメルーン共和国からの国外送金に遅延が発生していたこと、

以上を理由として、いったんモーリシャス共和国にあるオバンバ社モーリシャス法人にて資金を留保し、カメルーンへの投資が可能となるタイミングをモニタリングしておりました。しかしながら、最終的にカメルーンへのトレードファイナンスを実行する機会が訪れず、資金はローン満期時におきましてもオバンバ社モーリシャス法人に残っていたため、返済させていただき運びとなりました。

2019年4月11日配信の「カメルーン農業支援ファンド8号 契約期間延長のお知らせ」にてお伝えさせていただきましたように、本ファンドでは2019年3月25日に当社エストニア法人がオバンバ社モーリシャス法人より返済を受けることとなっておりましたが、オバンバ社モーリシャス法人の事務ミスにより返済が数営業日遅れることとなりました。具体的には、送金銀行から送られたメッセージのなかで、資金受取人の銀行口座番号（IBAN）情報に誤記があるものが送付されていたことを認識しました。その後、オバンバモーリシャス法人の取引銀行に対して、資金受取人の銀行口座番号の修正依頼を行い、当社エストニア法人はオバンバ社モーリシャス法人からEUR262,815.11を2019年4月18日に受領し、本営業者は当社エストニア法人より同額（EUR262,815.11）を2019年4月23日に受領したため、営業者は受領したユーロ貨すべてを円転し、2019年4月期の分配原資として当期に投資家の皆様に分配いたしております。

この送金遅延については、オバンバモーリシャス法人における事務ミスに起因するため、本営業者並びに当社エストニア法人は、オバンバ社に対して経緯の説明を正式な書面で報告を徴求し、当該遅延による遅延損害金の交渉も同時に行いました。2019年5月20日にお送りしたご報告では、契約内容および、市況を勘案すると、遅延損害金の請求は難しいものと見込んでおりましたが、結果として、オバンバ社と遅延損害金としてEUR1,005を払うという内容で合意がなされ、2019年9月23日に当社エストニア法人がその資金を受領し、2019年9月期の分配となりました。

この返済をもって、本号に帰属する財産はすべて換価されそのすべての分配をおこなったことから、今月期をもって運用を終了させていただきます。

遅延損害金を含め、ユーロ貨では元本額以上の返済を受けることができましたが、当社といたしましては、利息額が当初予定していたよりも大幅に少ない結果で運用を終了することとなりましたことについてお詫び申し上げます。

なお、本ファンドに関する出資金については、金融商品取引業等に関する内閣府令第125条その他の法令に定める基準に則り、ファンドの種類別・号数別に開設する口座で分別管理を行いました。

投資家のみなさまにおかれましては、今後とも当社ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

<会社概要（クラウドクレジット株式会社）>

【代表者】杉山智行

【設立年月】2013年1月

【資本金等】2,084,546千円

【URL】<https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第2809号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入

クラウドクレジット・ファンディング合同会社およびエストニアグループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純利益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2018年12月末現在・単位：千円)	1,000	10,751,200	10,769,258	△18,058	1,145,306	1,903	2,925	2,847
Crowdcredit Estonia OÜ (2018年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	76,657,401	75,058,999	1,598,402	7,513,535	967,565	967,572	967,572
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2018年12月末現在・単位：千円)	50,000	12,980,958	12,193,632	787,326	1,309,129	△484,881	△483,556	△504,219

※会計期間(2018年1月1日から2018年12月31日まで)の金額を記載しております。

(添付) 原文



April 26th, 2019

For The Attention of: Crowdfund Investors
C/O Crowdfund Leadership
Tokyo
Japan

Dear Crowdfund Investors:

We are writing with regards to the delays with the transfer of funds. We deeply regret that the funds collected were not transferred within the time frame anticipated, and for this we apologize. We have discovered that this delay was due to 'human error' within our Mauritian subsidiary and their interactions with Barclays Bank.

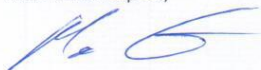
Unfortunately, the subsidiary's error resulted in the funds being transferred to the general account of your bank instead of your specific accounts. Resubmitting the payment instruction and correcting this error took longer than expected despite our prompt attempts to rectify. We acknowledge the inconvenience caused to you.

We have always valued our business relationship and recognize the contribution to our company's growth. We have requested the following from Crowdfund's leadership in an effort to prevent this from happening in the future:

- Requested a formal Payment Instruction from the Crowdfund Bank in Estonia that will allow for Ovamba, our bank, and our offshore administrators to ensure that it has the formal official bank payment instructions available for all transfers
- Created a more detailed review process between our Mauritian subsidiary and the local administrators

Both myself, and my co-founder Viola Llewellyn look forward to continuing our partnership on a stronger footing as we work together to help African businesses grow. We thank you for your time and patience with this matter.

With Kind Respect,



Marvin R. R. Cole
Global CEO
Ovamba Solutions Inc.



CC: Viola A. Llewellyn,
Global President
Ovamba Solutions, Inc.



和訳

クラウドクレジット投資家各位

カメルーン農業支援ファンド8号の送金が遅延した件について、皆様へご連絡申し上げます。

回収済みの資金を然るべき期限までに送金できなかったことは誠に遺憾であり、ここにお詫び申し上げます。遅延の原因は、弊社のモーリシャス子会社（以下、「弊社子会社」といいます）による、取引銀行とのやり取りにおいて生じた「人為的過誤」によるものです。

弊社子会社は、皆様のお手元へ分配される資金を、本来であればクラウドクレジット社がファンドシリーズ毎に分別管理する各口座へ個別に送金するべきところ、誤って、分別管理していない口座へまとめて送金してしまいました。私たちは、かかる事務ミスを挽回するために、直ちに再度の支払指図を発信致しましたが、本来あるべき状況へ収束するまでには想定外に長い時間を要しました。弊社は、皆様に大変なご不便をお掛けしたことを認識しております。

弊社は、いついかなる時も、お取引先との関係を大切にまいりました。再発防止策として、クラウドクレジット社に対しても、次の各点に関する協力を要請致しました：

- ・ クラウドクレジット社の子会社が口座を保有するエストニアの銀行に対して、支払指図書の発信を要請致しました。かかる指図書によって、弊社、取引銀行および弊社がオフショアでの事務を委託する業者（以下、「弊社事務委託先」といいます）のいずれもが、全ての送金について、公的に効力のある支払指図を確認できます。
- ・ 弊社子会社と弊社事務委託先とのやり取りについて、より詳細の確認プロセスを策定致しました。

アフリカにおけるビジネスに対して、皆様と関係が維持されていくことを、私と共同創業者ヴァイオラ・レウェリンは切に願っております。ここまで目を通していただきましてありがとうございます。また、本件についてお待ちくださったことに、重ねて感謝申し上げます。

敬意を込めて

マーヴィン・R・R・コール

グローバル CEO

オバンバ・ソリューションズ・インク

CC: ヴァイオラ・A・レウェリン

グローバルプレジデント

オバンバ・ソリューションズ・インク